

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 10010020

政策目標	4 つるおい・雄武～生活環境・生活基盤の充実～	会計区分	1 一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載 ・維持事業であるため、毎年実施する事業であります。
基本施策	16 交通体系の整備	事業優先度	A	
単位施策	1 道路環境の向上	政策事務分類	3 単独自治事務(その他)	
事業名	除雪事業	見直し年度		
事業期間	平成25年度～平成29年度	担当課	10 建設水道課	
事業主体	雄武町	関係課	#N/A	
事業指標	除雪延長		#N/A	
事業目標	808.7km	ハード/ソフト 事業区分	1 ハード事業	
住民参加 住民協働	有 広報等による協力要請	関係例規・法令名		
		関係個別計画名		

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	○除雪延長L=808.7km ・民間委託による除雪延長 L=724.7km ・直営による除雪延長 L=84.0km	除雪延長 L=160.7km ・委託 L=143.9km ・直営 L=16.8km	除雪延長 L=162.0km ・委託 L=145.2km ・直営 L=16.8km	除雪延長 L=162.0km ・委託 L=145.3km ・直営 L=16.8km	除雪延長 L=162.0km ・委託 L=145.2km ・直営 L=16.8km	除雪延長 L=162.0km ・委託 L=145.3km ・直営 L=16.8km
	事業費(千円)	309,616	58,416	62,800	62,800	62,800
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	44,000	7,200	9,200	9,200	9,200
	道支出金	0				
	地方債	0				
	その他	0				
一般財源	265,616	51,216	53,600	53,600	53,600	
実 績 事 業 費	事業費(千円)	155,261	67,480	87,781	0	0
	財源内訳					
	国庫支出金	14,510	5,310	9,200		
	道支出金	0				
	地方債	0				
その他	0					
一般財源	140,751	62,170	78,581			
関 連 事 項	特定財源の名称 ・社会資本整備総合交付金 (補助率2/3)	【評価・実績】	(実施内容等) 除雪延長L=159.9km ・委託L=143.1km ・直営L=16.8km	(実施内容等) 除雪延長L=161.8km ・委託L=145.0km ・直営L=16.8km	(実施内容等)	(実施内容等)
			※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果	※事務事業評価結果
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	159.9km	161.8km	162.0km	162.0km
		年度達成率	116%	140%	0%	0%
	第6期計画への継続 (継続有り)	全体達成率	22%	50%	50%	50%
	事業進捗状況	☆☆☆☆	☆☆☆☆			

事業名	除雪事業	評価者 管理職 職氏名	建設水道課長	渡邊孝司
		評価者 作成者 職氏名	土木管理係長	田原慎也

様式1
平成26年度実施
平成27年度評価

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	道路利用者、道路	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	除雪延長		
【抱える課題やニーズは】	雪による交通障害		指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値	
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	冬期間の幹線道路と生活道路の交通及び安全性の確保		① 除雪延長/除雪延長	目標年度	平成26年度
				目標値	161.8 km
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	冬期間の交通及び安全性の確保	②	実績値	161.8 km	
			達成度	100.0 %	
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	①直営と民間委託による除雪の実施	除雪は、直営分で借り上げた運転手4名及び添乗員3名と職員運転手2名で16.8kmを、委託分は民間業者により145.0kmを行った。また、今冬期も平年に比べて降雪量が多かったため増額補正を行った。			
	②直営による排雪の実施	排雪は、不足運転手及び機械を民間業者より借り上げ直営で実施した。また、今冬期も平年に比べて降雪量が多かったため排雪運搬機械等の借上料及び燃料費の増額補正を行った。			

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input type="checkbox"/>	義務的なもの	冬期間の幹線道路と生活道路の交通及び安全性の確保は、町が担う必要がある。
必要/概ね必要	<input type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	設定した目標値の達成状況	当該事業を実施したことにより、冬期間の幹線道路と生活道路の交通及び安全性が確保された。
有効/概ね有効	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	
課題あり	<input type="checkbox"/> ほぼ達成 <input type="checkbox"/> 下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上的コストを下げる工夫をしたか)

効率的	判断の理由	前年度に引き続きコストに見合った効果が得られたため、効率的であると判断する。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/> 事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/> 人員削減 <input type="checkbox"/> 時間短縮・作業軽減 <input checked="" type="checkbox"/> その他	

(4)事務事業の公平性

公平	判断の理由	冬期間の幹線道路と生活道路の交通及び安全性の確保が出来たことは、不特定多数の道路利用者に対して公平であると判断する。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/> 受益者負担がある	
公平でない	<input type="checkbox"/> 受益者負担がない <input type="checkbox"/> 受益が一部に偏る <input checked="" type="checkbox"/> その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A～D】

A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
	A	
	冬期間の除排雪は、交通確保上必要不可欠なものであることから、今後も計画どおり事業を進めることが適当であると判断する。	

今後の展開方向
(Action)

	継続/現状維持	
	冬期間の除排雪は、降雪量により左右されるが、交通確保のためには必要不可欠であることから、継続、現状維持が適当であると判断する。	

※展開方向の区分
○継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
○終了 ○休止 ○廃止